

【日常生活について】

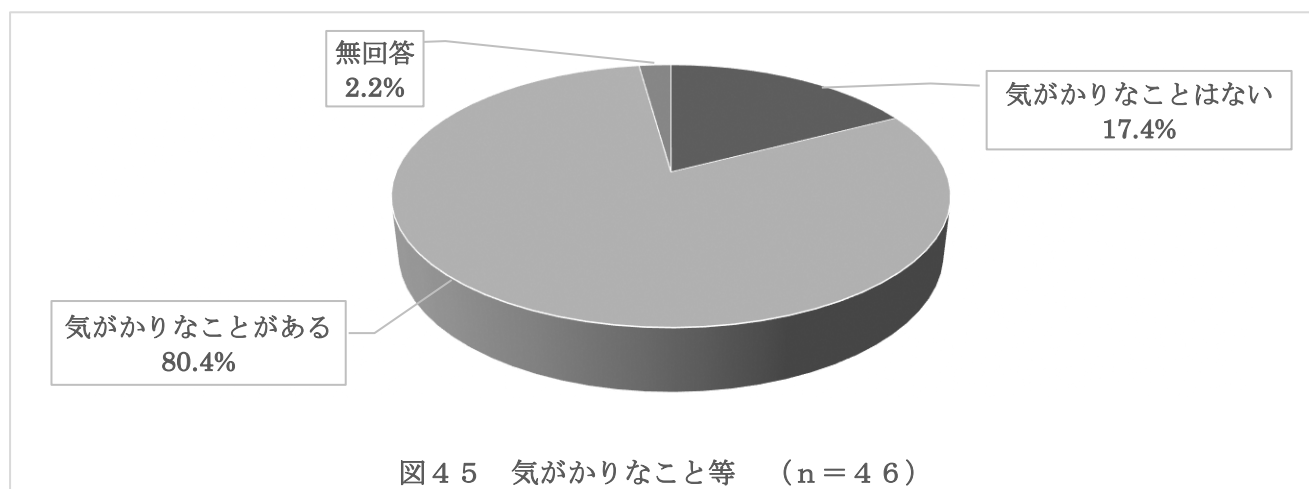
問45. ご本人・家族の日常生活で気がかりなこと等について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

「気がかりなことがある」が80.4%となっている。

表45 気がかりなこと等

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

気がかりなことはない	気がかりなことがある	無回答
8	37	1
17.4	80.4	2.2



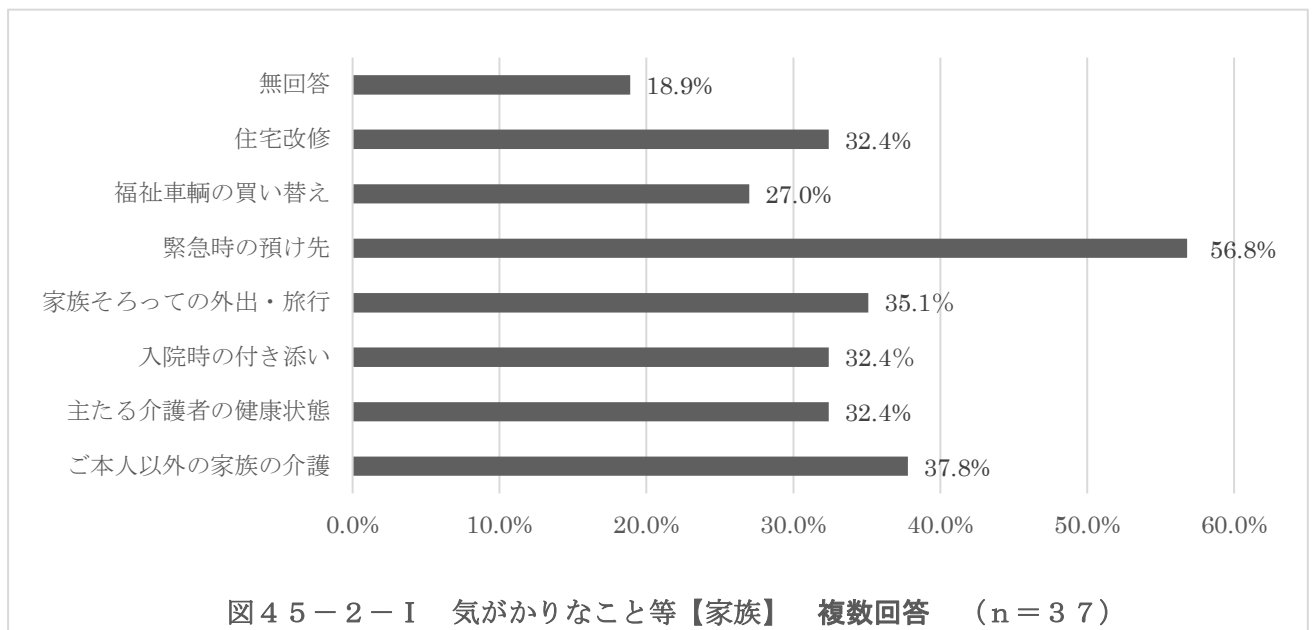
問45-2. 問45で「2. 気がかりなことがある」を選ばれた方に伺います。

以下のうち、その内容としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

【家族】は、「緊急時の預け先」が56.8%と最も多く、次いで「ご本人以外の家族の介護」が37.8%となっている。

表45-2-I 気がかりなこと等【家族】 複数回答 <<上段：回答者数(人) 下段：構成比(%)>>

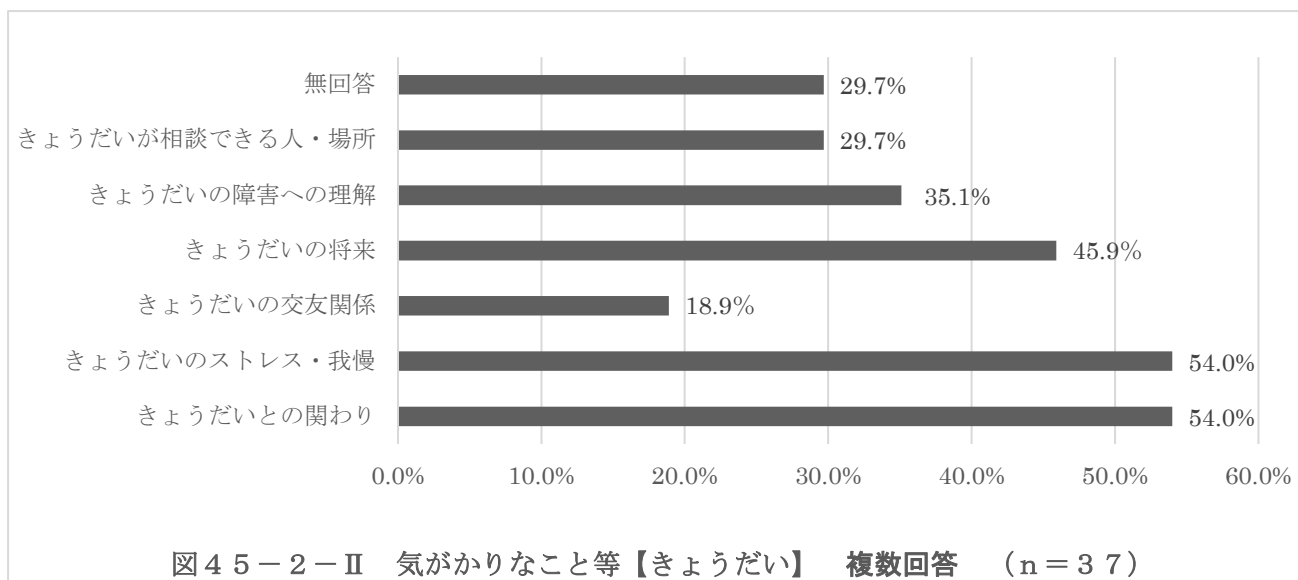
ご本人以外の 家族の介護	主たる介護 者の健康状態	入院時の付 き添い	家族そろっ ての外出・ 旅行	緊急時の預 け先	福祉車両 (スロープ 車等)の買 い替え	住宅改修 (スロー プ・手す り・リフト 等)	無回答
14	12	12	13	21	10	12	7
37.8	32.4	32.4	35.1	56.8	27.0	32.4	18.9



【きょうだい】は、「きょうだいとの関わり」「きょうだいのストレス・我慢」が共に54.0%となっており、次いで「きょうだいの将来」が45.9%となっている。

表45-2-II 気がかりなこと等【きょうだい】 複数回答<上段：回答者数(人) 下段：構成比(%)>

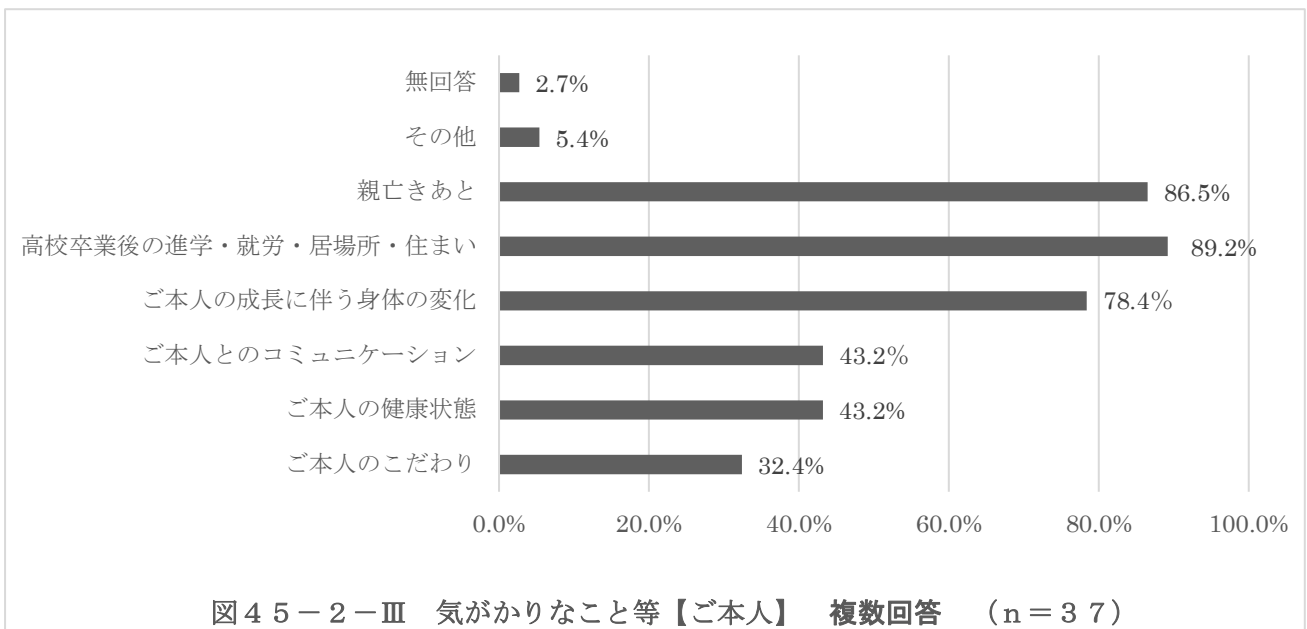
きょうだいとの関わり	きょうだいのストレス・我慢	きょうだいの交友関係	きょうだいの将来	きょうだいの障害への理解	きょうだいが相談できる人・場所	無回答
20	20	7	17	13	11	11
54.0	54.0	18.9	45.9	35.1	29.7	29.7



【ご本人】は、「ご本人の高校卒業後の進学・就労・居場所・住まい」が89.2%と最も多く、次いで「親亡きあと」が86.5%、「ご本人の成長に伴う身体の変化（側わん・変形等）」が78.4%となっている。

表45-2-III 気がかりなこと等【ご本人】 複数回答 ‹上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）›

ご本人のこだわり	ご本人の健康状態	ご本人とのコミュニケーション（意思疎通）	ご本人の成長に伴う身体の変化（側わん・変形等）	ご本人の高校卒業後の進学・就労・居場所・住まい	親亡きあと	その他	無回答
12	16	16	29	33	32	2	1
32.4	43.2	43.2	78.4	89.2	86.5	5.4	2.7



<その他>

- ・世帯主の健康
- ・医療移行（小児科→内科等）

問46. ご本人・家族の日常生活で気がかりなこと等について、相談する相手（機関）としてあてはまるものすべてに○を付けてください。

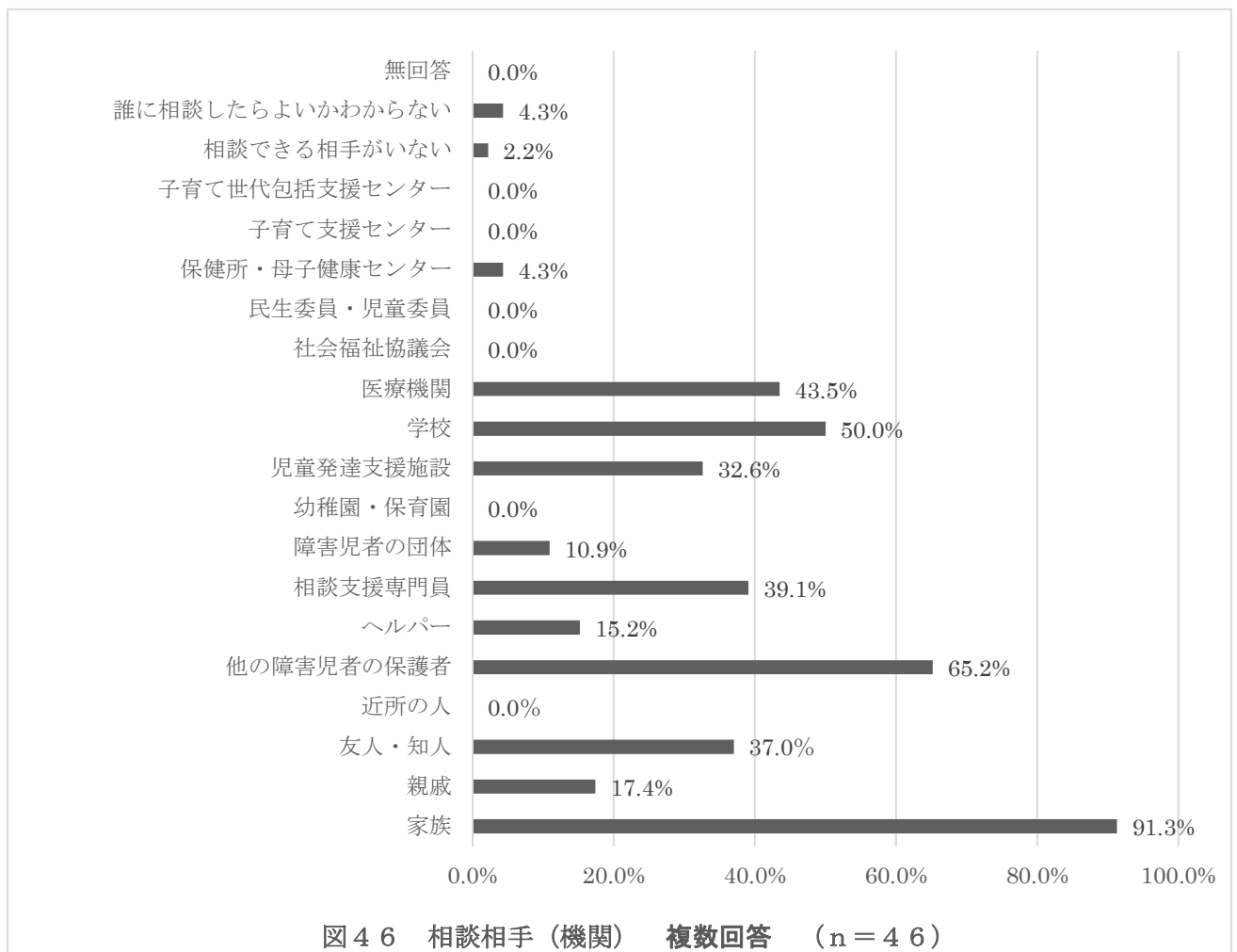
「家族」が91.3%と最も多く、次いで「他の障害児者の保護者」が65.2%、「学校」が50.0%となっている。

表46 相談相手（機関）複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

家族	親戚	友人・知人	近所の人	他の障害児者の保護者	ヘルパー	相談支援専門員	障害児者の団体	幼稚園・保育園	児童発達支援施設
42	8	17	0	30	7	18	5	0	15
91.3	17.4	37.0	0.0	65.2	15.2	39.1	10.9	0.0	32.6

学校	医療機関	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	保健所・母子健康センター	子育て支援センター	子育て世代包括支援センター	相談できる相手がない	誰に相談したらよいかわからない	無回答
23	20	0	0	2	0	0	1	2	0
50.0	43.5	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	2.2	4.3	0.0



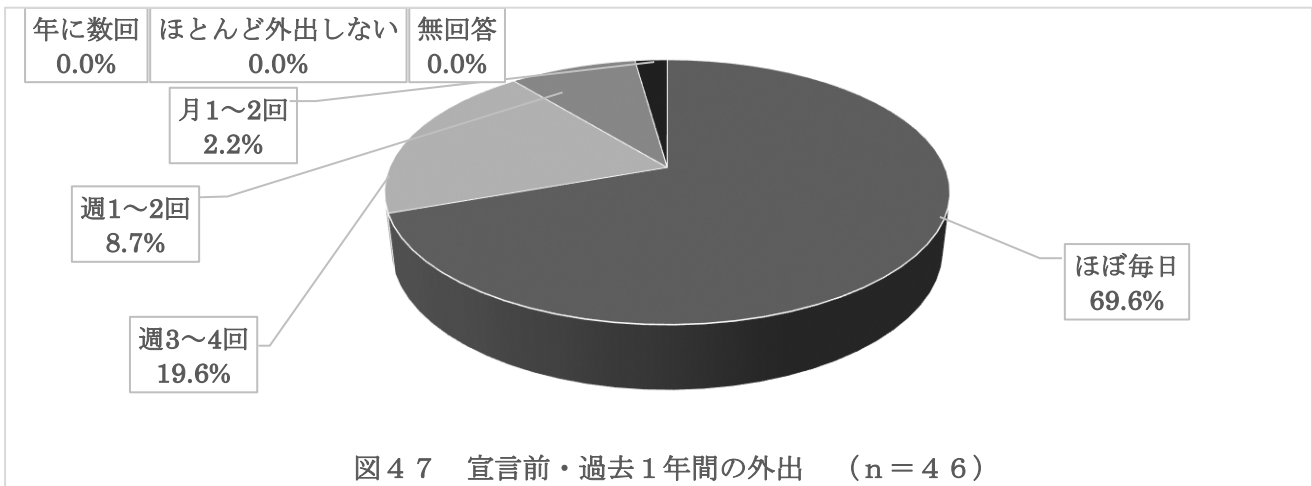
問47. 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言前（2020年4月6日以前）のご本人の過去1年間の外出（通園・通学含む）について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

「ほぼ毎日」が69.6%と最も多く、次いで「週3～4回」が19.6%となっている。

表47 宣言前・過去1年間の外出

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

ほぼ毎日	週3～4回	週1～2回	月1～2回	年に数回	ほとんど外出しない	無回答
32	9	4	1	0	0	0
69.6	19.6	8.7	2.2	0.0	0.0	0.0



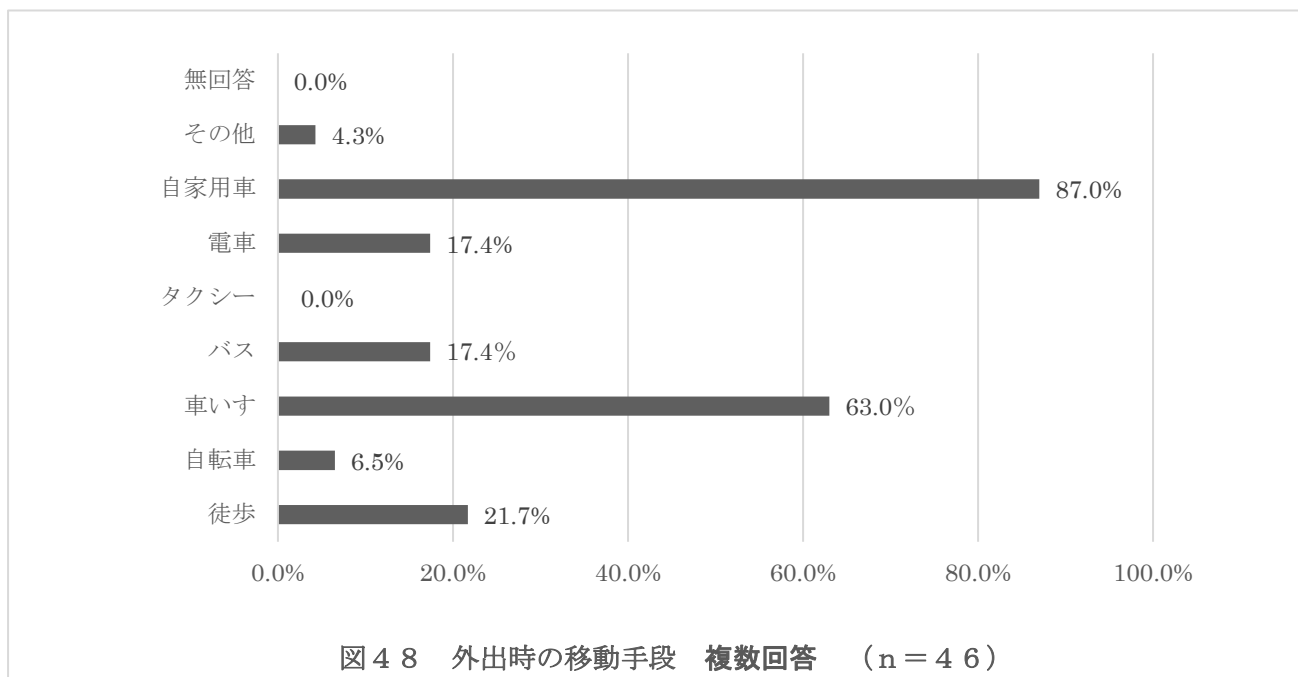
問 4 8 . ご本人が外出する時の移動手段について、あてはまるものすべてに○を付けてください。

「自家用車」が 87.0%と最も多く、次いで「車いす」が 63.0%となっている。

表 4 8 外出時の移動手段 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

徒歩	自転車	車いす	バス	タクシー	電車	自家用車	その他	無回答
10	3	29	8	0	8	40	2	0
21.7	6.5	63.0	17.4	0.0	17.4	87.0	4.3	0.0



<その他>

- ・ベビーカー
- ・バギー
- ・スクールバス、放課後等デイサービス送迎車
- ・電動三輪自転車

問49. ご本人の外出先（公共・商業施設、公園等）として重視する点について、あてはまるものすべてに○を付けてください。

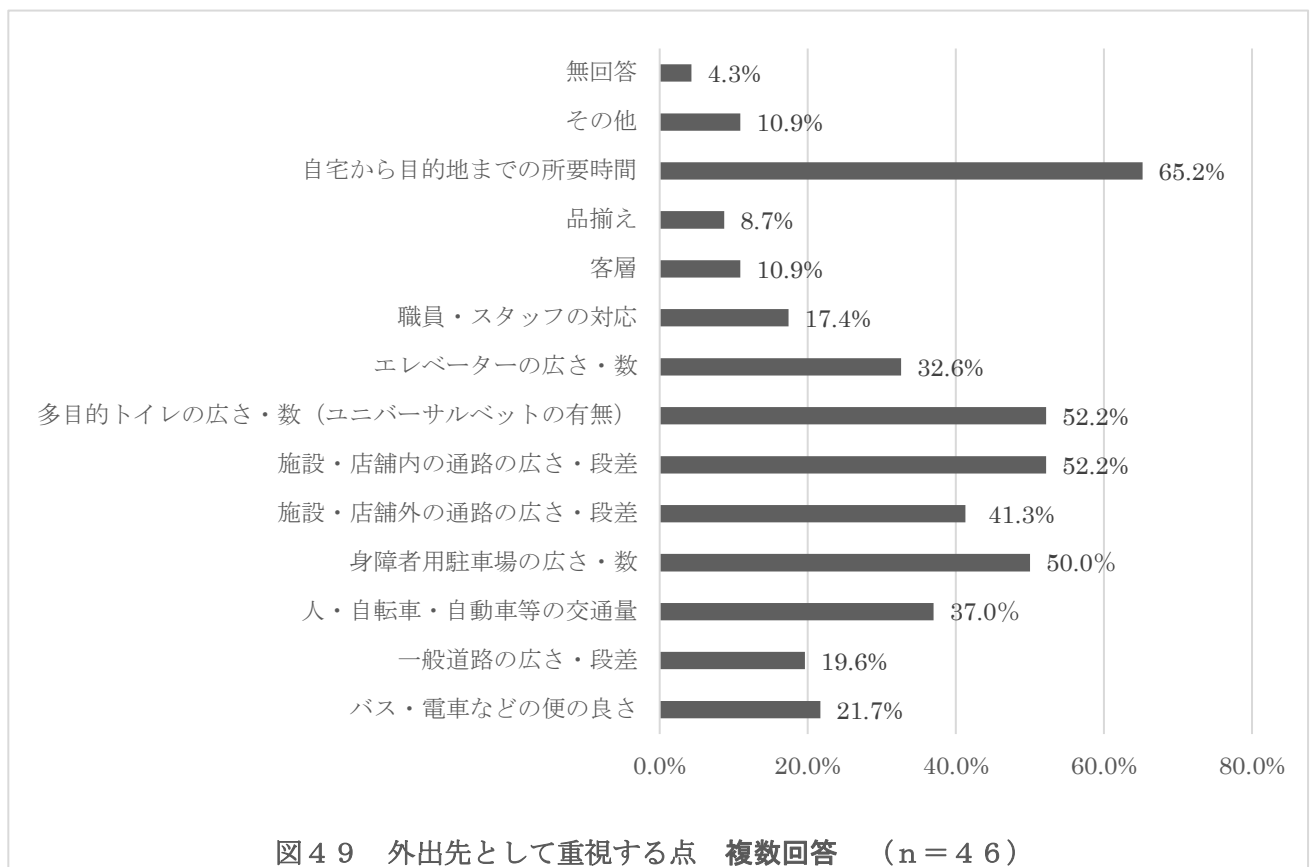
「自宅から目的地までの所要時間」が65.2%と最も多く、次いで「施設・店舗内の通路の広さ・段差」「多目的トイレの広さ・数（ユニバーサルベットの有無）」が共に52.2%となっている。

表49 外出先として重視する点 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

バス・電車などの便の良さ	一般道路の広さ・段差	人・自転車・自動車等の交通量	身障者用駐車場の広さ・数	施設・店舗外の通路の広さ・段差	施設・店舗内の通路の広さ・段差	多目的トイレの広さ・数（ユニバーサルベットの有無）
10	9	17	23	19	24	24
21.7	19.6	37.0	50.0	41.3	52.2	52.2

エレベーターの広さ・数	職員・スタッフの対応	客層	品揃え	自宅から目的地までの所要時間	その他	無回答
15	8	5	4	30	5	2
32.6	17.4	10.9	8.7	65.2	10.9	4.3



<その他>

- ・特になし
- ・駐車場に屋根があること（特に雨天時）

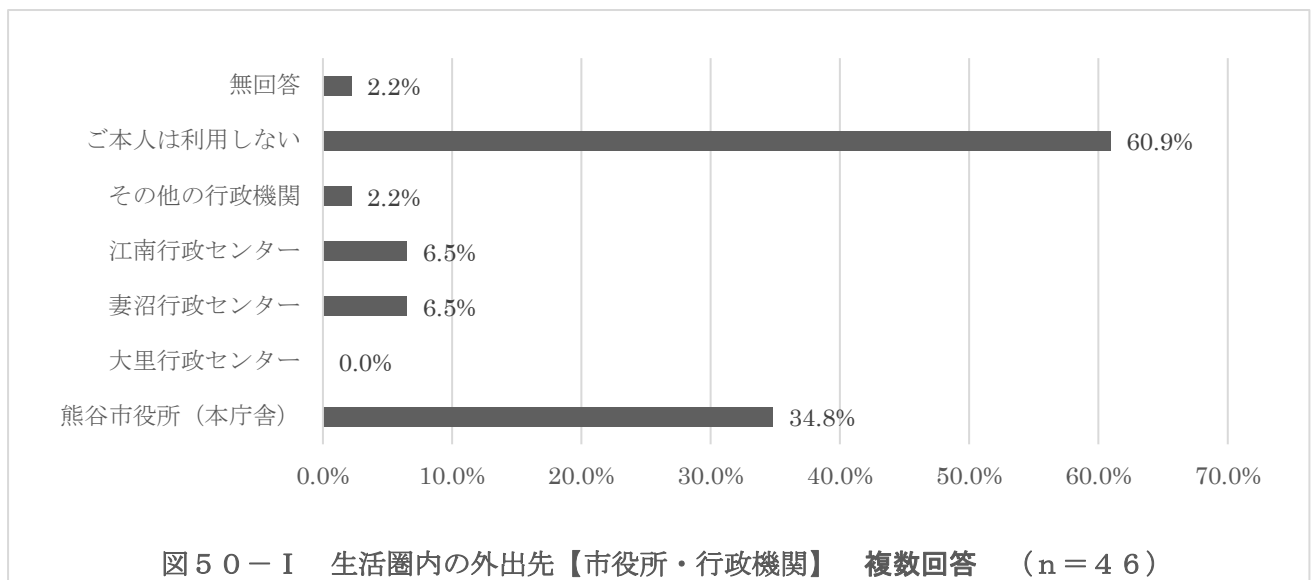
問50. ご本人の生活圏内で実際に出掛けている外出先（公共・商業施設、公園等）について、以下のうち、あてはまるものすべてに○を付けてください。

「ご本人は利用しない」が60.9%となっている。

表50-I 生活圏内の外出先【市役所・行政機関】 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

熊谷市役所 (本庁舎)	大里行政センター	妻沼行政センター	江南行政センター	その他の行政 機関	ご本人は利用 しない	無回答
16	0	3	3	1	28	1
34.8	0.0	6.5	6.5	2.2	60.9	2.2



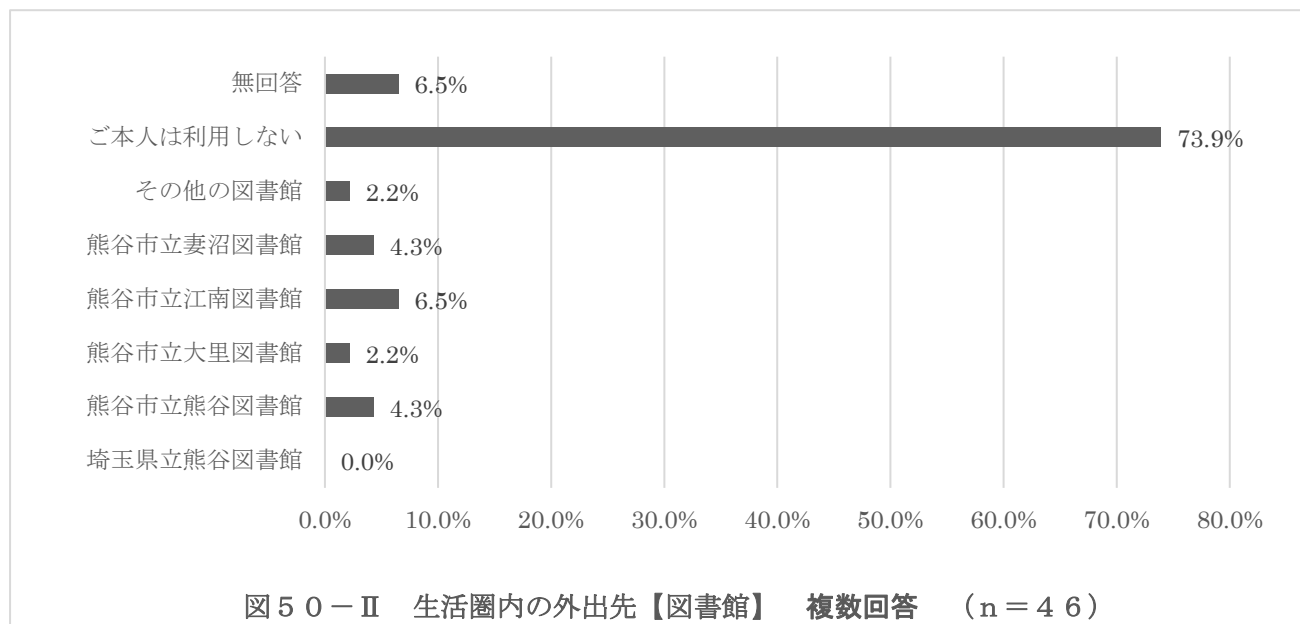
<その他行政機関>

- ・熊谷児童相談所

「ご本人は利用しない」が73.9%となっている。

表50-II 生活圏内の外出先【図書館】 複数回答 <<上段：回答者数（人）下段：構成比（%）>>

埼玉県立熊谷図書館	熊谷市立熊谷図書館	熊谷市立大里図書館	熊谷市立江南図書館	熊谷市立妻沼図書館	その他の図書館	ご本人は利用しない	無回答
0	2	1	3	2	1	34	3
0.0	4.3	2.2	6.5	4.3	2.2	73.9	6.5



<その他図書館>

- ・深谷市立図書館

市内は、「熊谷スポーツ文化公園」が41.3%と最も多く、次いで「熊谷さくら運動公園」「別府沼公園」が共に21.7%となっている。

市外は、「埼玉県農林公園」が41.3%と最も多く、次いで「国営武蔵丘陵森林公園」が26.1%、「埼玉県立川の博物館」が21.7%となっている。

「ご本人は利用しない」は28.3%であった。

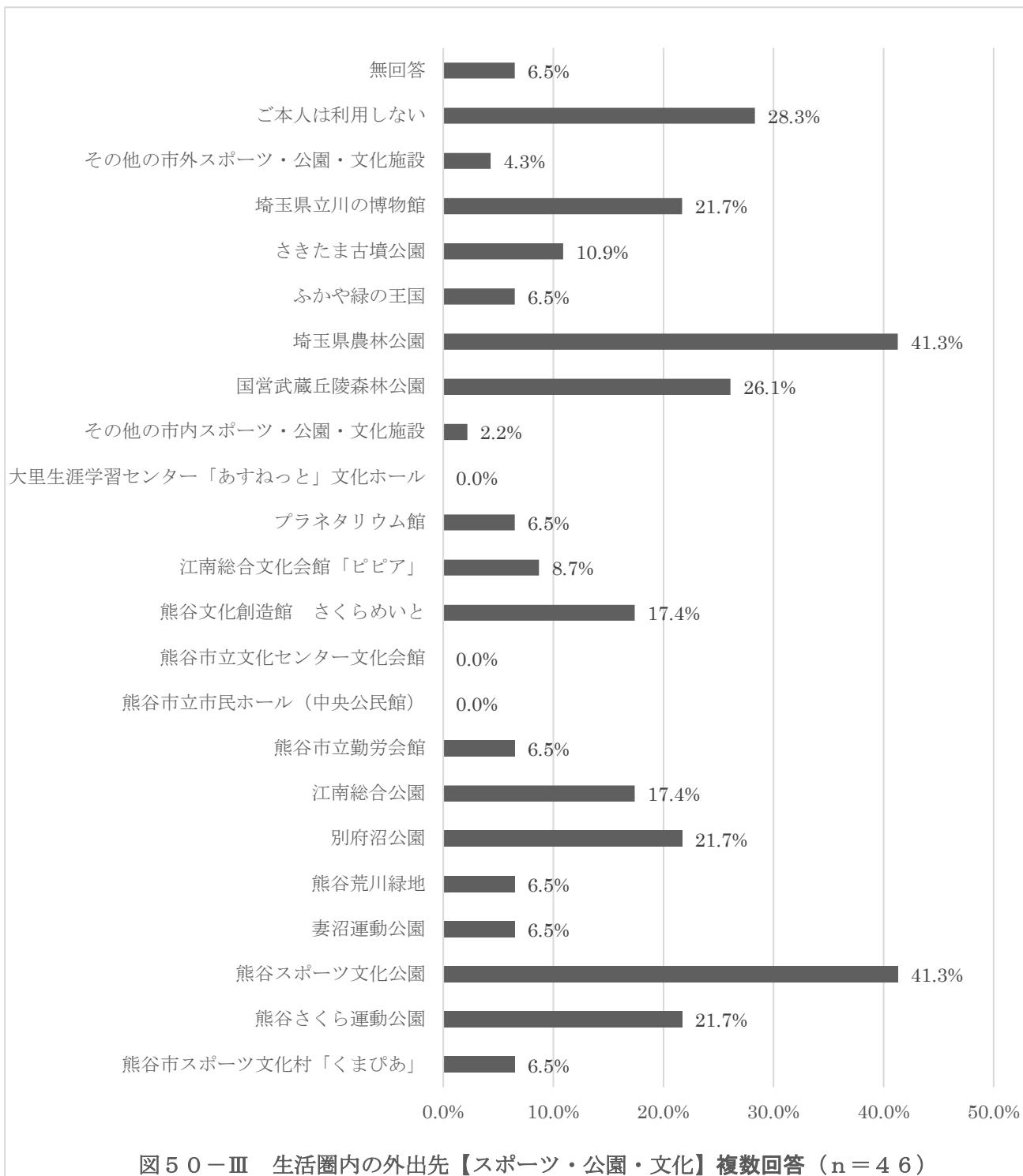
表50-III 生活圏内の外出先【スポーツ・公園・文化】複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」	熊谷さくら運動公園	熊谷スポーツ文化公園	妻沼運動公園	熊谷荒川緑地	別府沼公園	江南総合公園	熊谷市立勤労会館
3	10	19	3	3	10	8	3
6.5	21.7	41.3	6.5	6.5	21.7	17.4	6.5

熊谷市立市民ホール（中央公民館）	熊谷市立文化センター文化会館	熊谷文化創造館 さくらめいと	江南総合文化会館「ピピア」	プラネタリウム館	大里生涯学習センター「あすねっと」文化ホール	その他の市内スポーツ・公園・文化施設	国営武蔵丘陵森林公園
0	0	8	4	3	0	1	12
0.0	0.0	17.4	8.7	6.5	0.0	2.2	26.1

埼玉県農林公園	ふかや緑の王国	さきたま古墳公園	埼玉県立川の博物館	その他の市外スポーツ・公園・文化施設	ご本人は利用しない	無回答
19	3	5	10	2	13	3
41.3	6.5	10.9	21.7	4.3	28.3	6.5



<その他市内スポーツ・公園・文化>

- ・東公園
- ・万平公園
- ・熊久公園

<その他市外スポーツ・公園・文化>

- ・パティオ

市内は、「イオン熊谷店」が52.2%と最も多く、次いで「ニッソーモール」が37.0%、「八木橋百貨店」が28.3%となっている。

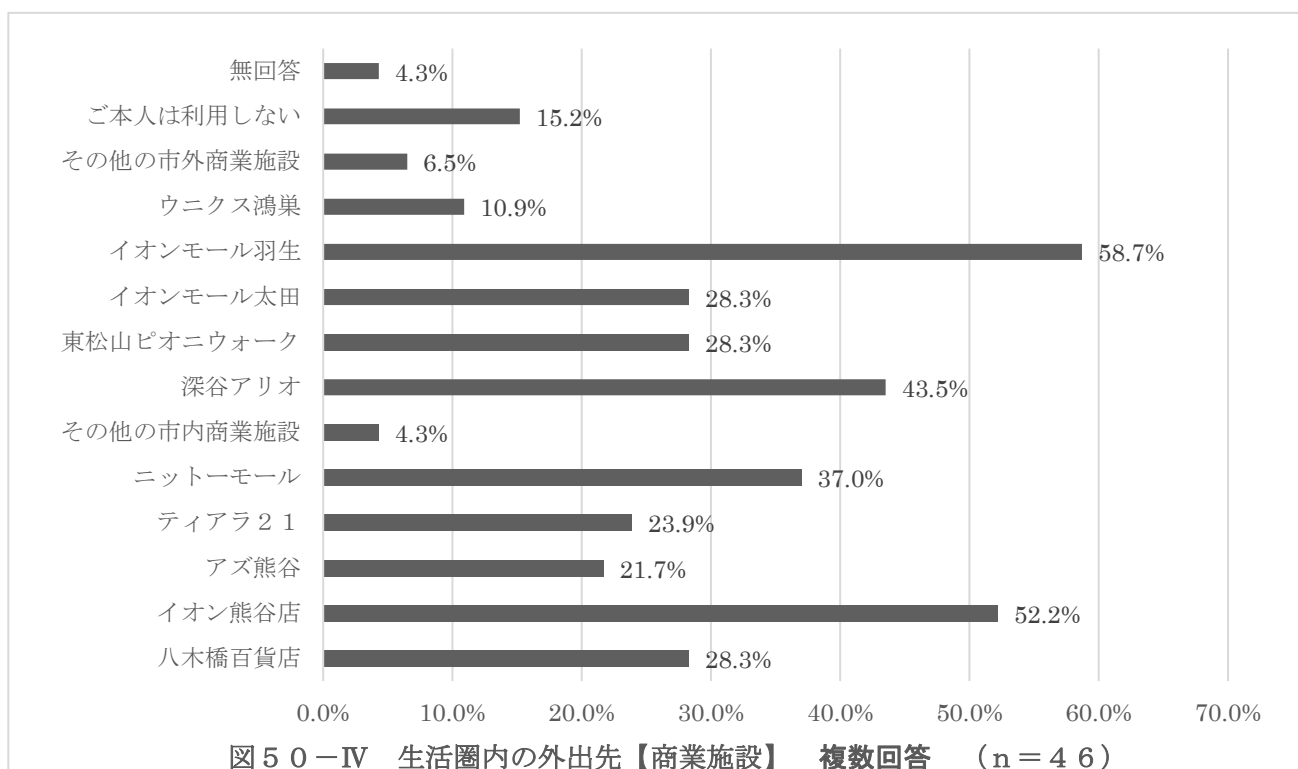
市外は、「イオンモール羽生」が58.7%と最も多く、次いで「深谷アリオ」が43.5%、「東松山ピオニウォーク」「イオンモール太田」が共に28.3%となっている。

「ご本人は利用しない」は15.2%であった。

表50-IV 生活圏内の外出先【商業施設】 複数回答 <<上段：回答者数（人）下段：構成比（%）>>

八木橋百貨店	イオン熊谷店	アズ熊谷	ティアラ21	ニッソーモール	その他の市内商業施設	深谷アリオ	東松山ピオニウォーク
13	24	10	11	17	2	20	13
28.3	52.2	21.7	23.9	37.0	4.3	43.5	28.3

イオンモール太田	イオンモール羽生	ユニクス鴻巣	その他の市外商業施設	ご本人は利用しない	無回答
13	27	5	3	7	2
28.3	58.7	10.9	6.5	15.2	4.3



<その他市内商業施設>

- ・サンプル

<その他市外商業施設>

- ・アウトレット
- ・ユニクロ深谷店

問50-2. 問50の各種施設（公共・商業施設、公園等）の利用満足度について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

市役所・行政機関は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が17.4%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が17.4%となっている。

図書館は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が8.7%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が4.4%となっている。

スポーツ・公園・文化（市内）は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が28.2%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が10.8%となっている。

スポーツ・公園・文化（市外）は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が17.3%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が4.3%となっている。

商業施設（市内）は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が21.7%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が17.3%となっている。

商業施設（市外）は、「満足」「どちらかといえば満足」の計が28.3%となっており、「どちらかといえば不満」「不満」の計が6.5%となっている。

表50-2 外出先・利用満足度 複数回答

《上段：回答者数（人） 下段：構成比（%）》

区分	満足	どちらかとい えば満足	どちらでもな い	どちらかとい えば不満	不満	無回答
市役所・ 行政機関 (n=46)	1	7	22	5	3	8
	2.2	15.2	47.8	10.9	6.5	17.4
図書館 (n=46)	1	3	21	1	1	19
	2.2	6.5	45.7	2.2	2.2	41.3
スポーツ・公園・ 文化（市内） (n=46)	3	10	16	3	2	12
	6.5	21.7	34.8	6.5	4.3	26.1
スポーツ・公園・ 文化（市外） (n=46)	2	6	22	2	0	14
	4.3	13.0	47.8	4.3	0.0	30.4
商業施設 （市内） (n=46)	3	7	19	6	2	9
	6.5	15.2	41.3	13.0	4.3	19.6
商業施設 （市外） (n=46)	5	8	22	2	1	8
	10.9	17.4	47.8	4.3	2.2	17.4

【日常生活について】自由記述

・基本的に寝たきりなので、車いすによる、自宅の周りの散歩が主な外出になります。後は、通院やリハビリへの外出くらいです。

・歩行ができないので自由に体を動かせる場所がない。兄弟がいるが、一緒に公園に連れて行くのが大変。体重も増えて抱っこもなかなかできなくなるし、不安を感じる。

・市内の商業施設（駅周辺）は車いす用のトイレにベッドがなく、オムツを替えられる所がないため大変利用しにくいです。駅から3施設繋がっているのに、どこにも無いようです。

（案内の方に聞いても「ない」「わからない」とのことだったので）

市内に限らず、車いす用トイレ（多目的トイレ）に大人も使えるユニバーサルシートを設置して欲しいと常々思っています。ベビーベッドではもうサイズの厳しい状況ですが、それでも利用せざるを得ない事もあり、危険でもあるためなんとかして欲しいのですが…

・出かける時は車ですが、身障者用の駐車スペースが少ない。一般車が駐車していることも多い。入口から少し遠くても屋根ありスペースなら問題ないので、身障者用を増やして欲しい。

・車いすでの外出を考えると市内公共施設、商業施設の利用は考えてしまう。市内の様々な場所、設備が、どの世代にも使いやすく考えられたものになるように障害の特性や世代に偏りなく聞き取りをして欲しい。

・車いすで移動なので、どこに行くにも狭い場所（エレベーター、道など）に困ります。兄弟と出掛けても（公園など）本人に合わせると、行く場所も決まってしまう行動範囲も狭くなっています。

・ユニバーサルトイレがない

・日かげが少ない

・身体の成長と共に当然、紙おむつの大きさや量も多くなります。紙おむつのゴミ捨てだけでもかなりの量になり、重労働。熊谷は、週2回の回収ですがゴミが溜まり大変です。回収数が増えればありがたいが、紙おむつ利用の家庭について別途回収サービス等、良い方法があると良いと思います！